

安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修報告

吉田 昌弘 機械・金属技術分野

1. はじめに

本学では、教員・技術職員・事務職員が第2種衛生管理者以上の資格を取得し、衛生巡視を行っている。技術職員の一部では、第1種衛生管理者や衛生工学衛生管理者なども取得している。このように大学の組織的な支援もあって資格取得に関しては、十分な体制となっているが、安全衛生に関する資格取得後のステップアップ研修については実施されていない。そこでこれらの資格を取得した後の研修の位置付けとして、中央労働災害防止協会（中災防）が開催している「安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修」（会場：新潟テルサ）を受講したので報告する。

2. 研修内容

本研修は、ラインとスタッフに分けて安全衛生管理を行っている事業所向けではあるが、内容は、どの職場でも共通となるリスクアセスメント（以下 RA）の手法の基本を習得できるようになっている。なお本研修は、厚生労働省通達(平成12年9月14日付け基発第577号)に基づく研修で、同通達によるリスクアセスメント担当者研修を修了したことになり修了証が授与される。日程は、

表1に示す通り1日研修である。

講義1及び講義2では、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の概論の講義に始まり、RAの基本に関するビデオ上映、リスクの見積り方法やリスク低減のための優先度の設定の講義が行われた。その後、演習1としてグループ毎に分かれ、リスクの見積りとリスクの低減措置のための優先度の設定に関する演習を行った。講義3では、RAの具体的な手法として対象の選定、情報の入手、危険性または有害性の特定、リスク低減措置の検討と実施について詳細に説明があった。演習2では、この講義を生かして具体的な想定事例を基に危険性または有害性の特定を再度行い、リスクの除去・低減措置の検討を行った。講義4では、導入スケジュールから事例紹介までが行われ、より具体的な実施手順の説明があった。

3. まとめ

リスクアセスメントについては、平成21年に実施された技術職員班別研修の一部で実習している。しかし、今回、改めて基本から系統的に学ぶことにより、今後の安全衛生巡視活動等に役立つステップアップ研修として有意義であった。

表1 研修日程

開催日：平成28年7月22日	
9時00分～9時10分	開講挨拶
9時10分～10時40分	【講義】労働安全衛生マネジメントシステムにおけるRAの目的と意義
10時50分～11時40分	【講義】RAの手法 その1
12時40分～13時20分	【演習】リスクの見積り、評価
13時20分～14時20分	【講義】RAの手法 その2
14時30分～15時30分	【演習】特定、見積り、評価、低減措置
15時40分～16時50分	【講義】RAの手法 その3
16時50分～17時00分	修了証授与／閉講挨拶